

## 沖縄音楽

教科	沖縄音楽	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 2・3 年次	必修・選択	選択（学校設定科目）

## 1. 目標

器楽に関する専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。

## 2. 学習計画

月	題材名	教材名	学習活動
4	オリエンテーション 三線に触れてみよう	勘所の教書 音階等	授業の心得、マナーの確認。 三線の仕組みについて知り、基本的な勘所の押さえ方、工工四の読み方について学ぶ。基礎的な用語を学び、今後の授業への導入とする。 童謡などを用いて勘所の押さえ方を学ぶ。
5	正しい奏法 簡単な曲を弾いてみよう 歌いながら演奏してみよう	ドレミの歌 ていんさぐぬ花	正しい姿勢と奏法を心がけて、演奏することに集中する。 カチウトゥ、ウチウトゥ等の奏法について知る。 歌いながら演奏してみる。
6	簡単な古典音楽・民謡に 挑戦	渡りザウ 安波節 安里屋ユンタ	基本的な曲からはじめ、沖縄民謡を弾く。 歌いながら演奏する。
7	古典音楽・民謡に挑戦 実技テスト 琴にさわってみる	秋の踊り 十九の春 豊年音頭 瀧落	歌・三線のレパートリーを増やし、体と感覚で覚える。実技テストを通して技術を確実に身につける。 琴の基本的な奏法について学ぶ。
9	ポピュラー音楽を演奏 する	島唄 涙そうそう	関心を持って楽しみながら練習に取り組む。歌いながら演奏する。
10	ポピュラー音楽を演奏 する	島唄 涙そうそう 童神	発表演奏をする。人前で演奏し、表現力を高める。
11	三線応用：他の調弦方法	三線の花 片手に三線を	二揚げ、三下げを理解し、演奏する。
12	三線応用：他の調弦方法 組踊を知ろう	三線の花 片手に三線を 「執心鐘入」	二揚げ、三下げを理解し演奏する。 組踊の鑑賞を通して郷土音楽の理解を深める。
1	三線応用：早弾きに挑戦 日本の音楽を知ろう	ハイおじさん 日本の民謡 歌舞伎作品	早弾きに挑戦する。 日本の民謡や歌舞伎を鑑賞する。

2	三線応用：古典の難曲に挑戦 合奏をしよう	かぎやで風	古典の難曲に挑戦し、歌の技術を伸ばす。琴、太鼓などを入れて合奏する。
3	合奏 1年の反省	かぎやで風	それぞれの担当楽器で合奏する。

### 3. 評価の観点及び評価方法

評価は4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
三線やいろいろな楽器の特質や奏法、視奏、曲の構成及び曲想に関心を持ち、意欲的に器楽表現をしている	三線固有の表現方法や美しさを感じ取って器楽表現を工夫している	固有の表現方法で美しく器楽表現する技能を身につけている	伝統音楽の種類と特徴に関心を持ち、意欲的に聞いている。